

小学校 低 学年< 2 - (2) >

学 年	2年	時 間	さんすう「ひょう・グラフと 時計」 ②1日の生活	時 期	4月	時 数	1時間(45分) ②1日の生活の 第3時
本時目標	<ul style="list-style-type: none"> 1日=24時間の関係を理解して午前(正午)午後をつけて何時何分までの時刻をよむことによって、災害はいつ起こるか分からないことを知り、普段からの備えの大切さに気づくことができる。 1日の生活の中で、時刻と時刻の間の時間をもとめることができる。 						
資料・準備	模型時計(教師用大時計)(児童用)、午前・午後の帯グラフ、ワークシート(適用問題の時刻の帯グラフと時計)(宿題プリント)						

展開(第1時)

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇)	指導上の留意点 支援(○)
導 入	1 時刻や時間を言いましょう。 ◇時刻をよんでみましょう。また時間や、その時間の前(後)の時刻を言いましょう。	○達成感を味わわせる。 ○教師用大型模型時計で、時刻をさし示しながらよませたり、時間を言わせたりする。
展 開	2 1日の生活の時刻や時間について考える。 ◇1日の生活をたどりながら、時刻をよんでみましょう。 ◇時刻と時刻の間の時間(何かをしている時間)はどれだけですか。 3 時計の絵と帯グラフを示しながら、適用問題をする。 (1)◇次の時刻を午前・午後をつけて読みましょう。 ① 鳥取県西部地震の起きた時刻を読みましょう。 ② 兵庫県南部地震(阪神淡路大震災)の起きた時刻を読みましょう。 ③ 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)の起きた時刻を読みましょう。 ④ 鳥取地震の起きた時刻を読みましょう。 (2)◇次の時刻を模型時計に表してから、プリントの時計に針を書き入れ、睡眠時間を求めましょう。 ① あなたが、昨日の夜、寝た時刻 ② あなたが、今朝(きょうの朝)、起きた時刻 ③ あなたが、昨日の夜寝た時刻から今朝起きた時刻までの時間	○生活と関連させながら、時刻の読み取りを正しくさせる。 ○1日=24時間を理解させ、午前、午後をつけて時刻を言わせる。 ○何かを表す(何かをしている時間)を午前・午後を帯で考えながら求めさせる。 ○ワークシート(3)に時計の針を書き入れたり、各自に書きこませたりしてもよい。 ○防災を題材とした適用問題を解き、地震はいつ起こるか分からないことを意識させる。 <ワークシート(1)> ①午後1時30分(昼休憩) ②午前5時46分(まだ寝ている) ③午後2時46分(帰る前ごろ) ④午後5時36分(夕ご飯の支度ごろ) ○資料「震災時に起こりうること」の中から児童に分かりやすく話してもよい。 ○ワークシート(2)を準備する。(★には各指導者で書き込んで準備してもよい。) ○ 昨夜の寝た時こくと今朝起きた時こく、睡眠時間を書かせ、調査を兼ねるとよい。
ま と め	3 まとめとふりかえりをする。 ◇今日の学習の感想を発表してください。 ◇今日学習したことを、家でもやってみましょう。家庭学習プリントに場面を書き出して、家でやってみましょう。	○例を挙げて、1日のいろいろな場面のはじめと終わりの時刻をよんで、どれだけ時間がかかったかをワークシートに書くよう話し、まとめとする。(家庭学習にする) <例> ・今日の朝、家をでた時刻、学校から家に帰った時刻、朝家を出た時刻から家に帰った時刻までの時間 ・宿題のはじめと終わり、かかった時間 ・夕食のはじめと終わり、食事時間 ・友達と遊びのはじめと終わり、遊び時間

関連する 教科・領域等	1年算数「おおきさくらべ(2)~とけい~」 学校教育活動全般
協力団体	